

# 令和七年 勝友

## Just for Today

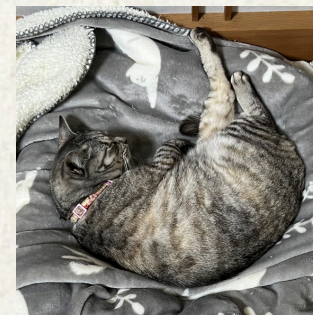
佛心とは大慈悲であります  
佛心は この世の一切のものに みちみちております  
すべての人 すべてのものに 内にも外にも みちております  
幼くとも若くとも老いても いつもつねにいっばいに みちております  
この佛心こそ真実であります  
この真実を求める心は 誰でも持っております  
いつも 自己のすべてを尽くして 一切の為になろうと志す大慈悲の心こそ  
すべての人のいのちの原点であり よろこびの母であり  
幸せのふるさとであります  
永遠に 不滅の光明であり 佛身であり 佛心であります  
この佛心に目覚めることこそ すべての人々の悲願ではないでしょうか

この詩は、私の頭を剃っていただいた師匠、原田湛玄老師がよく示されていたことを、ある修行僧がまとめたものです。  
「佛心に目覚める」と言われても、、、なかなか刺さらないかもしれません。  
家族4人、ローンを抱え、小遣いを切り詰め、子供を育て、親に仕送りをする日々の中で  
「佛心」なんて自分とは関係ないと感じる人も少なくないでしょう。  
でも、驚かれるかもしれませんが、そのがむしゃらに働く毎日、  
到底受け容れられない現実も、実は、仏心に目覚める糧となるものなのです。  
あなたの一挙手一投足や喜怒哀楽、  
それらはすべて仏心に目覚める糧となるものなのです。  
このことを心にメモしておきたいのです。  
このようなものの見方もあるということ。  
今は頷くことができなくても、このようなものの見方を深めていけば、  
たとえ真っ暗闇の中を生きることになったとしても、  
そこに一条の光を見出す力を手にすることができる。  
Just for Today、本年もそれぞれの場所で各々の課題を果していきましょう。

虚空蔵菩薩は能満諸願の菩薩です。  
福德と智慧を無限にお持ちになり、それらを自在に取り出して、  
私たちの願いを叶えてくれるはたらきがあります。  
徳成寺では、講中の方を対象に虚空蔵様御開帳法要をしてみました。  
しかしながら、現今の状況を鑑み、どなたでもご参加できる  
祈願の日(春の縁日)を設けることにいたしました。  
本年は、4月20日(日曜日)に行います。  
この縁日に、虚空蔵様マルシェも開催いたします。  
キッチンカーや屋台、本堂内での合唱や講話、子ども広場、健康コーナー、  
写経などの場を考えております。  
皆さまに楽しんでいただく縁日にしたいと、企画中です。  
詳細は春彼岸頃にお知らせいたします。



住職は、郡山市看護専門学校の非常勤講師をしております。  
一年に一度、学生さんをお招きし、お寺で坐禅会をしております。  
トクが学生さんの傍で坐禅をしている様子です。  
来寺する方々に可愛がられ、大きな病気をすることもなく、  
穏やかに過ごしております。



徳成寺からのお願い  
お寺にご用の際には、お越しになる前に必ずお電話をください。  
住職一人がお寺で起居しております。  
葬儀や所用で留守にすることも多くありますので、  
予め電話でご要件をお伝えください。

尚、お盆やお彼岸には近隣のご寺院のお手伝いに伺います。  
8月14日、彼岸の中日、正月3ヶ日以外の所在については、  
お手数ですがご確認ください。

# 令和六年 伝道掲示板

1月 前半

福、受け尽くす可からず  
福、もし受け尽くさば、縁 必ず孤なり  
法演禪師の四戒

1月 後半

夢は逃げない 逃げるのはいつも自分  
高橋 歩

2月

如来様の住んでいる場所は  
私の苦しみの真っ只中  
大峯 顕

3月

己が貧しければ  
そこに描かれた富士も貧しい  
横山大観

4月

桜散る 梅はこぼれる 椿落つ  
牡丹くずれる 菊は舞う  
薔薇は枯れ 紫陽花しおれ  
朝顔しぼむ あなたは？

5月

振り出しは振り出して 終わりじゃない  
SION

6月

山あれば山を観る 雨の日は雨を聴く  
春夏秋冬  
あしたもよろし ゆふべもよろし  
山頭火

7月

青空のもとに楓のひろがりて  
君亡き夏の初まれるかな 与謝野晶子

8月

仏は常にいませども現ならぬぞあはれなる  
人の音せぬ暁に ほのかに夢に見えたまふ  
『梁塵秘抄』

9月

くじけそうな時こそ 遠くを見るんだ  
スタートライン/ 馬場俊英

10月

涙を抱えて 沈黙すべし  
中岡慎太郎

11月

平生はむろん、死地に入り難局に処しても、  
困ったという一言だけは断じていうなかれ  
高杉晋作 田中光顕 『維新風雲回顧録』

12月

忍 朝夕の飯さえこわし  
やわらかし思うままにはならぬ世の中

6月 全機会

兵庫県丹波篠山市 願勝寺住職岩田雅之老師をお招きして、法話というものを皆様に経験していただきました。浜松市、鎌倉市、横浜市、都内からもご参加頂きました。

法話は堅苦しいものではありません。

あなたの時機に叶えば…あなたの心に優しくふれることもあり、  
あなたの心に灯りが灯る契機になるものなのです。  
何か一つでも、心に響くものがあれば、嬉しく思います。

11月 全機会

NHKラジオ、「ふんわり」のパーソナリティでおなじみの黒川伊保子先生をお招きし、  
～人生のトリセツ～ 人生の本番は56歳から始まる をご講演いただきました。

脳は56歳から人生最高潮期に入り、失敗を重ね、物忘れの果てにやっと完成するものであり、年齢を重ねることも、失敗も物忘れも憂う必要がないのだ、とお話を披露いただきました。



墓地の樹木伐採

樹木医の診断により、倒木の可能性が高いと指摘を受けました。  
5月、犯土(つち)の日を避けて境内地の樹木を数本伐採しました。



徳成寺



徳成寺

寄進者

輪島塗唐草蒔絵朱如意 東京都 寺本恭子殿  
虚空蔵様鰐口紐 郡山市 橋本清志殿